



2016-2017年度
東日本区 理事通信
第20巻06号
2016年12月2日



「理事メッセージ」

あいさつ

時の流れは人を待たず、早、師走となりました。今年度も折り返し点に差し掛かろうとしております。年度当初の目標の達成状況がそろそろ気になり始める頃ですが、各クラブではいかがでしょうか。

今月はE (Extension-クラブ拡張)、M (Membership-会員増強)、C (Conservation-維持啓発)のうちのMC強調月間です。Mに関しては各クラブ2名の会員増加で区の会員数を1,000名以上に、Cは退会者ゼロを目指す、が区の目標です。区の会員数は現在930人代で、まだまだ目標には手が届きません。引き続き、一人が一人を勧誘する覚悟で増強に努めていただきたいと思います。

と同時にCの会員の維持啓発(用語集では意識の高揚と表現)も忘れてはなりません。例会を欠席がちのメンバーはいませんか。欠席の理由は様々でしょうが、例会が楽しく、充実していることが、クラブの原点であり、会員維持の要です。12月は多くのクラブでクリスマス例会を開催されることとでしょう。いつにもまして、豊かな交わりのある時期でもあります。どうかクラブで例会の在り方を見直したり、今までやりたくてもできなかった例会の内容を考えたり、会員の維持への意識の啓発を例会の充実を通して図ってください。

みなさまが健康に恵まれ、楽しく、豊かなクリスマスを迎えられますようお祈りしております。

★ 国際役員等の選挙への投票をお願いいたします。

各クラブ会長宛に、今年度の国際役員(次々期国際会長、次々期国際会計、次々期アジア太平洋地域選出国際議員(アジア太平洋地域会長)の投票および国際憲法改正の賛否を問う投票のため、投票用紙(2枚)、投票用紙記入要領、候補者プロフィール(英文および日本語)、郵送用封筒を別便にて発送いたします。必ず期日(2017年1月31日必着)までにスイス・ジュネーブの国際本部宛に、各クラブ会長から個別に直接返送してください。またメール、ファックスによる投票も可能ですので、要領をよくお読みいただき、間違いのないように投票してください。

なお、各クラブ会長は、投票を完了したら各部長にその旨ご報告いただき、各部長は部内全クラブが期限内に投票するようフォローをよろしくお願いいたします。

★東日本区定款改訂の動き

(1) 全クラブで改定案の検討を!

各クラブにおいて、東日本区定款改訂委員会によって示された「東日本区定款改訂案」

について、10月末を目途に検討を行っていた
だき、改訂委員会の部代表委員を通じて結果
を提出していただきました。その時点でまだ
検討が終わっておらず、未回答のクラブがあ
りましたので、未回答のクラブは12月末を
目途にクラブ内で協議をして、結果を部代表
委員にご報告ください。東日本区の根幹をな
す定款の改訂ですので、ぜひ全クラブで改定
案に目を通していただくことを再度お願い
いたします。

(2) 前文を募集します！

「これが国際憲法や東日本区定款のモット
ー、要綱、目的等を包括したワイズのエッセ
ンスです。」と言えるような「前文」を募集
します。近々、部代表委員および各クラブ会
長あてに募集要領を郵送いたしますので、奮
ってご応募ください。

★東日本区20周年記念誌の編集が動きだ しました。

第2回東日本区役員会（11月5日開催）で、
北村文雄ワイズ（厚木）を編集委員長とする東

日本区20周年記念誌編集委員会の発足が承認
されたことを受け、11月18日に第1回編集委
員会が開催されました。編集委員は、（順不同
敬称略）伊丹一之（東京むかで）、小山憲彦（東
京サンライズ）、仙洞田安宏（甲府）、長津徹（東
京サンライズ）、吉田明弘（東京西）が参画し、
役職委員として栗本治郎・次期理事、田中博
之・20周年記念事業検討委員会チームリーダ
ー、利根川恵子理事も編集にかかわります。

第1回編集委員会において、記念誌の位置づ
けを東日本区11年～20年の歩みをつづるもの
とし、内容も「東日本区10年の歩み」の項目
を踏襲したものとすることが決定しました。し
かし、東日本大震災災害支援活動などは特記事
項として加えていくことも決まりました。

今後、多くの方々に原稿執筆や写真、資料の
提供などのお願いをすることになりますが、ご
協力をどうぞよろしくお願いいたします。

理事 利根川 恵子

第2回東西日本区交流会のお申し込 みのお願い

東日本区理事 利根川恵子
国際・交流事業主任 太田勝人

皆様、常日頃のワイズダムのご奉仕に感謝申し上
げます。

さて、すでに理事通信や部会の集まり等にてお知
らせして参りましたが、更に11月10日付にて
利根川理事、田中実行委員長名で“ご案内”を差
し上げていますので、マークされていることと存
じます。

申し込みの締切りが本年12月31日で、その日
までにクラブ単位で纏めて頂き、東日本区事務所
宛にお送り下さる様お願いいたしております。

来年2月4日、5日と東山荘はワイズメンですべ
て貸し切りです。東西のワイズメンが一堂に会
し、交流、親睦を中心として楽しい企画を東西日
本区交流実行委員長を中心に委員が全員で何回も
打ち合わせた上で、プログラムを創って参りまし
た。皆様のご参加を心からお待ち申し上げてお
ります。

DBCに関して、この機会に「千葉クラブー大阪高
槻クラブ」の締結式を行ってお祝い致しますが、
どうか他のクラブからも同様にDBCの締結式が出

来ます事を願っておりますので、お知らせ下さい。すでに結ばれている DBC の交流会も設けております。DBC 同士でお声を掛け合っご参加下さい。

それでは、皆様、今一度 11 月 10 日付けの”ご案内“をご覧になっていただき、本年 12 月 31 日までにお申し込みをされますようお願い申し上げます。

新しい仲間

下記の方々が 11 月 1 日以降に新しく入会されました。

たので紹介します。心から歓迎します。

(敬称略)

大林健太郎さん (石巻広域)



YMCA だより

連絡主事 光永尚生

日本 YMCA 同盟が、年間 10 回発行しているニュースである、「THE YMCA」をご覧になったことはありますか。万が一、ない場合には、「日本 YMCA 同盟」のホームページにアクセスしていただき、ぜひバックナンバーなどをご覧頂きたいと思っております。12 月号には、表紙に、上智大学教授の田中治彦さんが寄稿されております。「若者の居場所と参加」というテーマです。また、2 面と 3 面には、第 47 回全国 YMCA リーダー研修会と第 19 回の日本 YMCA 大会の特集記事が掲載されています。何れも「ユースは社会を変えられる」というタイトルになります。この中で、私が注目していることは、ユースによる。ユースの為のユースによる企画ではあるのですが、いつも、シニアの温かいまなざしの中で、ユースが育まれているということです。いつもそのことを感じつつ様々な場をみております。ユースとシニア、この一

見、相反するようなニュアンスがあるカテゴリーではあっても、実は、対抗補完的な働きをいつも行っているという事実があるのではないのでしょうか。「ユースとシニア」YMCAらしい未来志向の永遠にも思えるテーマであると感じます。ワイズメンの中でもこのような葛藤から、新しい価値や、新しいムーブメントが発生していくことを願っています。2017 年 2 月 4 日(土)~5 日(日)には、東西ワイズの交流会を東山荘で開催していただきます。申し込みの時期を迎えておりますが全国から 400 名のワイズメンが集われる姿を今から楽しみにしています。第 51 回目の年末年始家族パーティーも多くのお申し込みをいただき紙面をお借りして感謝と御礼を申し上げます。最後に、御殿場にあるハンセン病療養所であった神山復生病院で、元患者さんである藤原さんに教えられた言葉をお知らせいたします。「こどもをばかにするな。それは、自分の通ってきた道。年寄りをばかにするな。それは、これから通る道。」心に沁みるこの頃です。キーワードは、すべての人への愛とリスペクトではないかと思えます。

東日本区事務所年末・年始の予定

年末 12 月 27 日 (火) から新年 1 月 5 日 (木) までお休みとなりますので、ご注意ください。